



2023年度

(2024年3月期)

第3四半期

決算報告

NSユニテッド海運株式会社

2024年1月31日

目次

1. 第3四半期決算の概要 p. 2 - 3
2. 2023年度業績見通し p. 4 - 5
3. 活動状況 p. 6
(ご参考) 財務アウトルック p. 7

1. 第3四半期決算の概要

【連結】 (単位：億円)	2022年度						2023年度				前年度 同期比
	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q	
売上高	623	685	660	1,969	540	2,508	554	570	602	1,725	▲ 243
営業利益	112	95	93	300	25	325	58	64	50	172	▲ 127
外航部門	113	91	83	287	14	301	55	57	40	152	▲ 134
内航部門	▲ 1	4	10	13	11	24	3	7	10	20	+ 7
経常利益	131	110	73	314	21	334	79	60	36	175	▲ 139
親会社株主に帰属する 四半期純利益	105	89	59	254	22	276	62	48	31	141	▲ 112
為替 (円/US\$)	125.33	136.33	144.33	135.33	132.67	134.67	135.33	142.67	149.33	142.44	+ 7.11
燃料油価格※ (US\$/MT)	663	747	605	670	605	655	538	545	555	546	▲ 125

※燃料油価格は脱硫装置を搭載した船舶で消費する高硫黄C重油を含む全油種平均価格

BCI 5TC市況推移(2022年4月～)



1. 第3四半期決算の概要

- 外航海運**
- 10月以降、大型船市況は変動が大きくブラジル積み鉄鉱石やギニア積みボーキサイトの好調な出荷が市況を押し上げ、12月には日建て用船料が一時5万ドルを上回ったものの、年末に向け急速に下げ足を速めた。大型船は中長期契約による安定収益を積み重ねたことに加え、フリー船隊も想定を上回る収益を確保。
 - 中小型船は渇水による影響でパナマ運河の通峡が制限され、滞船に伴う配船調整、市況船の手配が収益を下押しした。VLGC（大型LPG運搬船）市況はLPGの旺盛な輸送需要に支えられ上昇。
 - 円安の追い風も受け、営業利益は152億円を計上。過去最高益となる前年度には及ばないものの、効率運航に努め着実に収益を積み上げた。
- 内航海運**
- 鋼材輸送量は自動車向けには回復傾向となるも、建設業や製造業では人手不足、資材高による影響で輸送需要が伸び悩み減少。
 - 鉄鋼原料輸送量は船隊規模を增強した効果に加え、スポット輸送需要を取り込むことで堅調に推移。石炭火力発電所の稼働率低下による電力向けやセメント向けの輸送需要低下を補う。
 - タンカーはLNG輸送・LPG輸送ともに効率運航に努めたものの、需要減退の影響により船舶稼働率低下。
 - 以上により営業利益で20億円を計上、前年同期比約7億円の増益。

2.2023年度業績見通し

【連結】 (単位：億円)	2023年度 (今回予想)				
	上期 (実績)	3Q (実績)	4Q (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)
売上高	1,124	602	528	1,129	2,253
営業利益	122	50	32	82	204
外航部門	112	40	24	65	177
内航部門	10	10	7	17	27
経常利益	138	36	28	65	203
親会社株主に帰属する 当期純利益	110	31	28	59	169
為替 (円/US\$)	¥139.00	¥149.33	¥144.00	¥146.67	¥142.84
燃料油価格※ (US\$/MT)	\$541	\$555	\$529	\$542	\$542
市況					
ケープサイズ	\$14,449	\$28,128	\$15,800	\$21,964	\$18,207
パナマックス	\$12,063	\$16,117	\$12,000	\$14,059	\$13,061
ハンディ	\$9,614	\$12,851	\$11,600	\$12,226	\$10,920

前年度比	
前年度通期 (実績)	増減額
2,508	▲ 255
325	▲ 121
301	▲ 124
24	+ 3
334	▲ 131
276	▲ 107
¥134.67	+ ¥8.16
\$655	▲ \$114
\$14,726	+ \$3,481
\$17,677	▲ \$4,616
\$17,637	▲ \$6,717

前回10月予想比	
通期 (予想)	増減額
2,042	+ 211
181	+ 23
161	+ 16
20	+ 7
173	+ 30
139	+ 30
¥137.00	+ ¥5.83
\$564	▲ \$23
\$13,725	+ \$4,482
\$11,282	+ \$1,779
\$9,932	+ \$988

※ 為替は1円の円で約2億円/4Qの経常増益

燃料油価格は脱硫装置を搭載した船舶で消費する高硫黄C重油を含む全油種平均価格

2.2023年度業績見通し

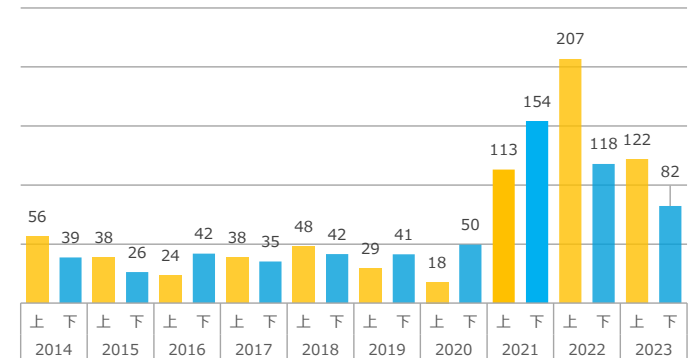
業績の見通し：各段階利益で従来予想を上回り、ROEは10%超となる見通し

- 年明け以降の海運市況は季節的な要因により下落しているが、海上輸送需要は豪州やブラジル積み鉄鉱石を中心に増加傾向が見込まれ、前回10月予想時に比べ大型船、中小型船市況共に上振れを予測。
- パナマ運河の渇水をめぐる混乱は春先まで継続し、滞船や代替航路選定に伴う輸送トンマイルの増加により市況にはプラス要因と見られるが、通峡費用や迂回ルートに起因する費用増が懸念される。
- 為替は前回10月時点に予測した前提より円安で推移。専航船、連続航海契約などの安定収益でパナマ運河に関連する費用増を吸収し、2023年度通期の連結経常利益は前回予想を30億円上回る203億円を予想。当期純利益は169億円でROEは3期連続で10%超を見込む。

配当予想：配当性向は年間で概ね30%を目途、期末配当は40円の増配を予想

- 当社は株主への利益還元を経営上の重要な施策の一つとして位置づけ、2018年度より中間配当を実施。2023年度も一株あたり80円の間中間配当を実施いたしました。
- 今般、通期業績予想見通しに基づき、前回100円としておりました期末配当予想を40円増配し一株あたり140円、年間配当を220円と予想します。

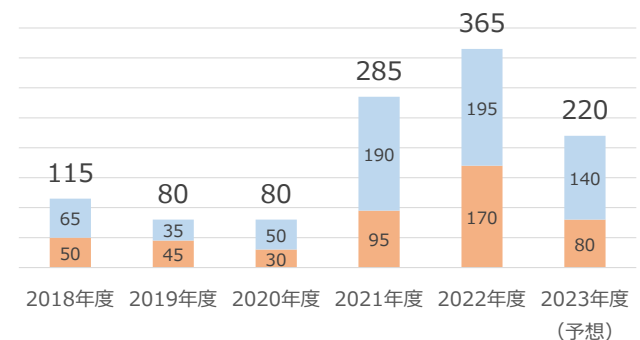
半期毎営業利益（単位：億円）



	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	80円	100円	180円
今回修正予想	80円	140円	220円

前期実績 (2023年3月期)	170円	195円	365円
--------------------	------	------	------

一株当たり配当（円） ■ 中間 ■ 期末

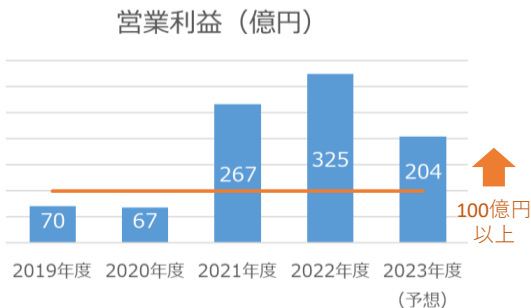


3. 活動状況

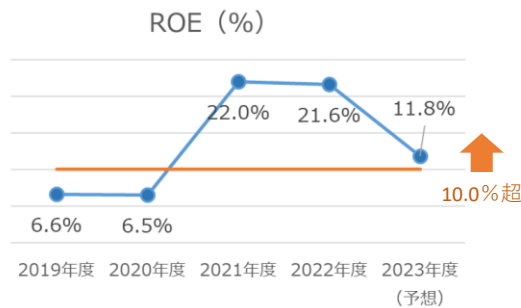
中期経営計画目標達成に向けて

2020年度を初年度とする中期経営計画「FORWARD 2030 ~ Driving U forward over the next decade」は今年度が最終年度となります。総仕上げの四半期として目標達成に向け注力し、次期中期経営計画につなげてまいります。

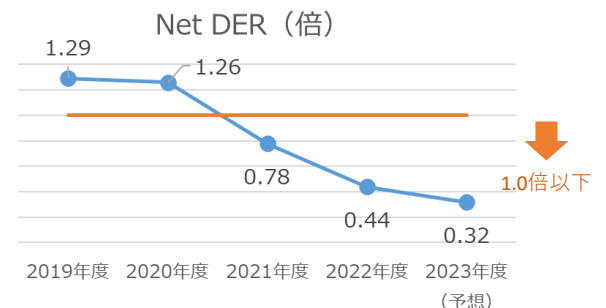
中期経営計画目標 (2023年度)	
営業利益	100億円以上
ROE	10.0%超
Net DER	1.0倍以下



▶3期連続100億円以上達成見込



▶3期連続10.0%超達成見込



▶3期連続1.0倍以下達成見込

近海新造船 環境対応 WIND BELL / ASIAN KIND 備船開始

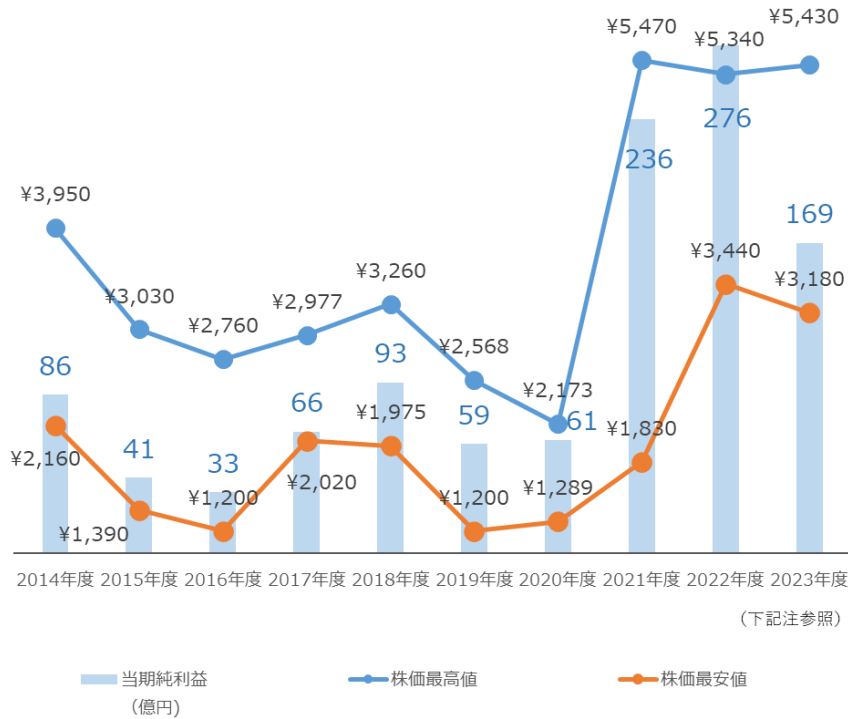
11月10日にM.V.WIND BELLが、12月13日にM.V.ASIAN KINDが竣工し備船を開始しました。両船共にCO2排出規制であるEEDI（エネルギー効率関連条約）フェーズ3に対応しているほか、船尾のプロペラ周辺に推進効率向上装置を装備しており、燃費節減と環境負荷の低減を実現する最新鋭船です。



M.V. ASIAN KIND

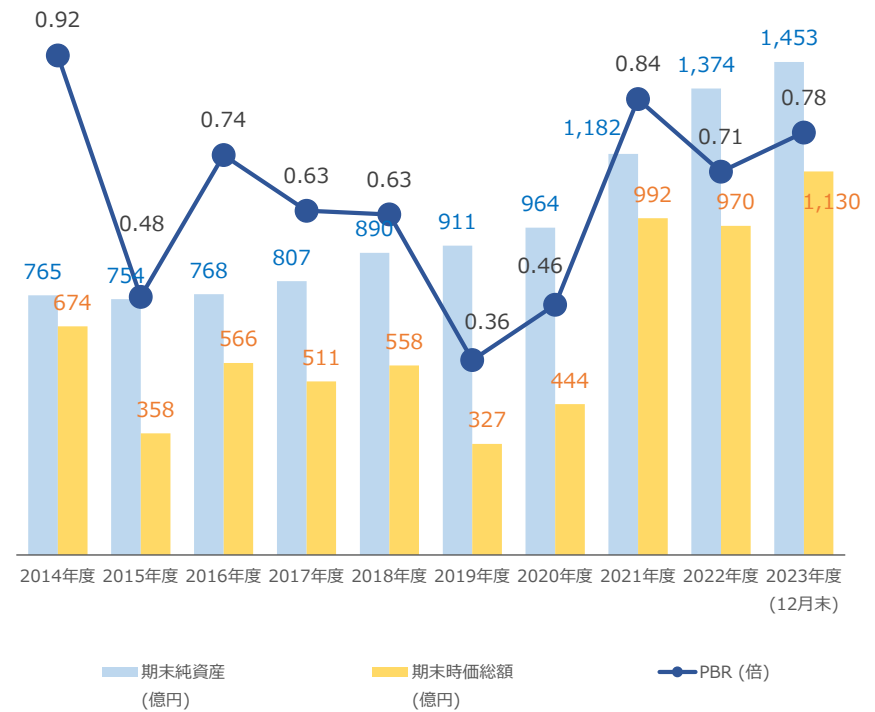
(ご参考) 財務アウトック

当期純利益と期中株価の推移



注) 当期純利益は予測値
株価は4-12月実績

期末純資産・時価総額

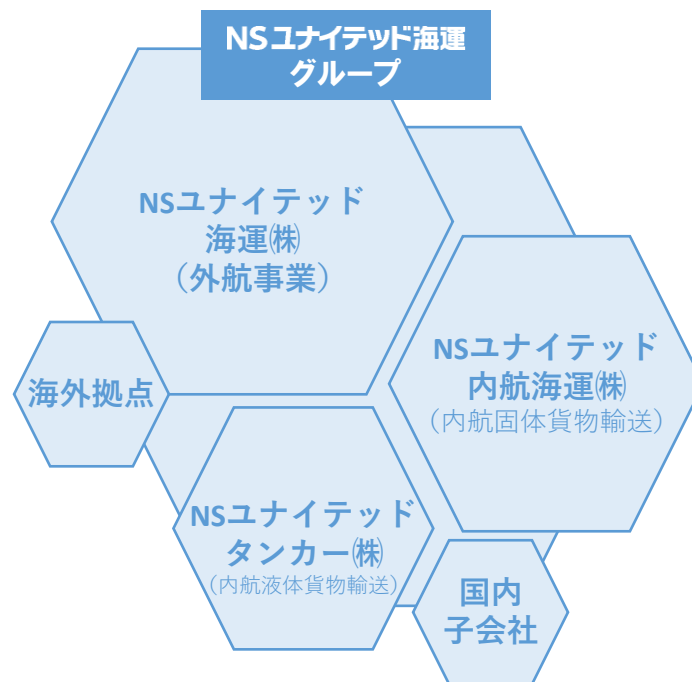


NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<https://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411